

石井樋公園内の兵庫竹林で竹切活動(佐賀県農業土木振興会)に参加

西日本総合コンサルタント(株)

佐賀県の農業土木職員OBでつくる「佐賀県農業土木振興会」(牛草寛志会長、会員21名)は令和3年12月9日、佐賀市のさが水ものがたり館南側にある石井樋公園内の兵庫竹林での有明海再生に向けた牡蠣礁作りのための竹切活動に会員13名が参加し、当社からは内野政則常務と山口鶴美技術管理部長の2名が参加しました。

最初に、さが水ものがたり館の荒牧軍治館長(佐賀大学名誉教授)から「有明海の環境問題で重要な貧酸素水塊を減らすには、二枚貝を増やすことが効果的であることから、嘉瀬川中流の河川敷に繁茂し流水阻害となっている真竹を採取し、嘉瀬川河口の干潟に立て込んで牡蠣(二枚貝)礁の再生を目指している。また、これまでの取組により牡蠣礁が以前の状況に近づいている。」との説明を受け、参加会員も平成30年から協力した成果が既に発現していることで竹切活動のより一層の励みとなった。

その後、同館南側の兵庫竹林に移動して竹切作業を行った。参加者は、丸さ2~3センチの竹を切り出す班と長さ約120センチに切り揃える班に分かれ、約2時間作業で目標1,100本を上回る約1,250本を効率よく仕上げた。

また、当社では、兵庫竹林で切った竹を嘉瀬川河口の干潟に立て込む作業への参加協力も平成30年から毎年行っています。

事前研修(荒牧館長 目的説明)



現地作業状況





当社の参加者 山口鶴美部長（左） 内野政則常務（右）



竹切作業の成果 1,224本（12本/束 102束）

